

デジタル化って何でしょうか？

どんな使い方ができるのでしょうか？

便利なのでしょうか？

総合的なデジタル化計画

地域の歴史や文化に関する資料をいつでも誰でも容易に利用できる環境を整え、次世代に伝え残していくため、鳥取県立図書館が有する資料のデジタル化の方法や資料の提供のあり方などを「総合的なデジタル化計画」としてまとめました。詳しくは、県立図書館ホームページをご覧ください。

貴重資料の保存

県立図書館の資料のデジタル化は、貴重なもの、劣化の進行が著しい資料など緊急性の高い資料を優先させて5ヶ年計画で行い、2020年年度にはデジタルアーカイブシステムを公開する予定です。

各機関との連携

今後は、県立公文書館、県立博物館、市町村立図書館、大学図書館などと連携し、各機関の所蔵するデジタル化資料も横断的に検索できるシステムを構築する予定です。あわせて、このシステムに県民の方も参加できるようにしていきます。

誰でも活用

デジタル化が進めば、いつでも誰でもどこからでも、資料を利用することができます。学校教育、観光、ビジネスの場でも活用してもらえる機会が増え、地域の再認識や活性化に利用してもらえないかと期待しています。



「星取県」に関係？
岡田機外の撰句集
(昭和19年刊)



池田光仲(初代鳥取藩主)の和歌も
高精細画像で筆の動きがわかる



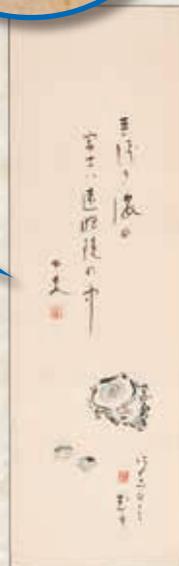
池田慶徳(12代鳥取藩主)の大きな掛軸(縦180cm)も簡単に閲覧



「鍾馗図」(沖一峽筆)の
髭や頭髮の描写がわかる



米子に関する資料を探す
「鷺見休明書」(米子組士)



萩原井泉水(自由律俳誌
『層雲』主宰)の落款を見る